

令和5年度 高齢者地域貢献活動 知事表彰団体一覧

5部門8団体

表彰部門	団体名	市町名	頁
介護予防	ふれあいサロン鳴滝会	長崎市	2
	坂口長生会	大村市	3
見守り	下川尻ふれあいサロン	島原市	4
	岩舟・日向平・本小路地域 高齢者独り暮らしを見守る会	大村市	5
地域の助け合い	三つ葉の会	東彼杵町	6
地域活性化	本三ふれあいサロン	長崎市	7
	のほほん亭	大村市	8
地域貢献活動	中野地区老人クラブ連合会	平戸市	9

令和6年1月25日

高齢者地域貢献活動 知事表彰

1．表彰の趣旨

この表彰は、介護予防や日常生活における助け合いなど、地域貢献活動に積極的に取り組んでいる高齢者を中心とした団体を表彰することにより、高齢者の社会参加を促進し、活躍の場を広げ、もって本県の地域包括ケアシステムの深化・推進に資することを目的としています。

2．表彰の対象団体

表彰の対象団体は、地域の実情に合った介護予防・日常生活支援等の地域貢献活動を行っている65歳以上の高齢者を中心とした団体で、次の各号のいずれにも該当する団体です。

- (1) 3年以上継続して活動を実施している団体であること。
- (2) 年間を通して継続的に活動しており、かつ、今後も継続的な活動が見込まれる団体であること。
- (3) 65歳以上の高齢者の割合が、全構成員の5割以上を占める団体であること。
- (4) 過去に同一の活動内容で厚生労働大臣表彰、知事表彰を受けたことがない団体であること。
- (5) 宗教活動又は政治活動を目的とした団体ではないこと。
- (6) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しつつ、予防措置を講じながら何らかの形で活動を継続している団体であること。

【介護予防 部門】

ふれあいサロン鳴滝会（長崎市）

代表 末吉 寿美子 氏

活動開始時期	活動年数	年間活動日数	活動者数 (うち65歳以上)
2011年 9月	12年 4か月	42日	40人(40人)

【活動概要】

地域の見守り強化と認知症に関する支援が必要となった高齢者でも通える集いの場の設置を目的に活動を開始。対象者を町内に限定せず、週1回、体操や茶話会、脳トレなどを行っている。

男性参加者を増やすため、男性でも参加しやすい内容にするなど工夫し、参加者の4分の1が男性の参加となっている。

サロン開設当初は民生委員1人がサロン運営を行っていたが、自治会等で若い世代に積極的に声掛けをするなどし、現在は6名のサロンサポーターが支援者として活動している。当該サロンの代表者であるサロンサポーターが、他地区でもサロンを立ち上げ、そこでもサロンサポーターの育成も行っており、新たな介護予防の場の開設・拡大に繋がっている。



【介護予防 部門】

坂口長生会（大村市）

代表 宰所 幸一郎 氏

活動開始時期	活動年数	年間活動日数	活動者数 (うち65歳以上)
1975年 4月	48年 9か月	365日	50人(50人)

【活動概要】

当団体は、無理のない健康づくりとして「365日のラジオ体操」「趣味活動」「清掃活動」「出前講座」等を行いながら、町内及び市老連行事にも積極的に参加している。

特に「365日のラジオ体操」は、平成7年6月から現在に至るまで、毎朝実施しており、それに合わせて、近くにある熊雄神社境内清掃も毎日実施している。毎日20名ほどが参加し、「明るく、楽しく、元気よく」を合言葉に、喜びと生きがいを感じ合い、心と体の健康づくりに繋げている。

町内行事へも老人会が積極的に協力しているため、町内会や子ども会との連携も取れている。



【見守り 部門】

下川尻ふれあいサロン（島原市）

代表 鐘ヶ江 あけみ 氏

活動開始時期	活動年数	年間活動日数	活動者数 (うち65歳以上)
2004年 1月	20年	12日	3人(2人)

【活動概要】

当時の民生委員が中心となり2004年1月から活動を開始し、今年20年目を迎えた。月に1回、体操や創作活動を行っており、夏休みには子どもたちとの交流の時間を作っている。

また、専門職からの運動指導や感染予防の講話、詐欺防止のための講話など学びの機会も取り入れている。

多くの人にサロンに参加してもらうため、一人ひとりに合わせた参加呼びかけを行っており、コロナ禍で市内一斉に集い活動を自粛するよう指示が出た時も、参加者を訪問し、顔を見て声かけを行い、クイズを印刷した物や折り紙を配付した。

現在、若い世代の支え手の参画も進んでいる。



【見守り 部門】

岩舟・日向平・本小路地域 高齢者独り暮らしを見守る会（大村市）

代表 浦川 史弘 氏

活動開始時期	活動年数	年間活動日数	活動者数 (うち65歳以上)
2010年 4月	13年 9か月	24日	11人(10人)

【活動概要】

地域が一丸となった独居高齢者を見守る環境づくりが必要であると考え、代表の浦川氏が設立した「男の料理教室」メンバーや民生委員等の協力・賛同を得て、活動を開始した。

毎月1回、地域の独居高齢者を招いて、食事会・演奏や歌の鑑賞・健康体操などを行っている。食事は、地場産の旬な食材を中心に調達し、「男の料理教室」メンバーや民生委員等が中心となって調理している。

年に数回、メンバーと参加者が今後の活動方針について話し合う場を設けており、話し合いを通じて参加者も団体・地域の一員であるという意識を持つことができ、地域内での関係性構築に大きな一助となっている。



【地域の助け合い 部門】

三つ葉の会（東彼杵町）

代表 栗本 節子 氏

活動開始時期	活動年数	年間活動日数	活動者数 (うち65歳以上)
1998年 10月	25年 3か月	110日	18人(18人)

【活動概要】

平成10年10月、3つのボランティアグループを合併し「三つ葉の会」として活動を開始。

介護施設へ傾聴ボランティアやレクレーションボランティアとして訪問。利用者とお喋りしたり、お散歩への同行、製作活動や干し柿づくりなどを行っている。

コロナ禍で施設への訪問が厳しくなった時期は、地域の独居高齢者や高齢夫婦のゴミ出しボランティアを中心に活動。令和4年5月からは1回100円でゴミ出しなどの簡単なお手伝いを行う「ワンコインボランティア」を開始し現在も精力的に活動中。

当団体の活動は、利用者の生活の支えだけでなく、心の支えにもなっている。



【地域活性化 部門】

本三ふれあいサロン（長崎市）

代表 小林 弘義 氏

活動開始時期	活動年数	年間活動日数	活動者数 (うち65歳以上)
2016年 9月	7年 4か月	48日	49人(49人)

【活動概要】

「地域で高齢者が集まる機会が欲しい」との声を受け、本河内3丁目の老人会会長が立ち上げた。

2017年7月からサロンへ移行し、週1回、閉じこもり防止、健康維持・増進のため、体操や茶話会、脳トレなどを行っている。運動・交流機会として花見ウォーキングやペタンク大会、すごろく大会なども実施しており、すごろく大会は地域の20名程の子どもが参加し、多世代交流の機会にもなっている。

当団体は、自治会、老人クラブ、民生委員など各団体が持ち回りで支援者側となるなど地域全体で運営を行っている。サロン参加者からの口コミで老人会活動へ興味を持つ住民も増え、老人会会員も増加傾向にある。



【地域活性化 部門】

のほほん亭（大村市）

代表 本多 則子 氏

活動開始時期	活動年数	年間活動日数	活動者数 (うち65歳以上)
2019年 8月	4年 5か月	20日	7人(6人)

【活動概要】

少子高齢化や核家族化が進み、地域コミュニティの希薄化・孤立が進む社会において、気軽に足を運べる地域の居場所が社会に繋がる手立ての一つとして必要であるとの思いがきっかけとなり、家開きカフェとして自宅でコミュニティカフェを立ち上げた。

月2回、手作りのぜんざいや豚汁などを提供し、食事を囲んで談笑を楽しんでいる。参加者は30代から80代と幅広く、悩みを抱えた方、話をゆっくり聞いて欲しい方などは、状況に応じて別室で話を聞くなどの対応をしている。また、移動が困難な方については送迎の対応も行っている。

のほほん亭の思いに共感した仲間が、同じスタイル（家開きカフェ）の居場所を市内2か所に開設しており、地域の居場所づくりに貢献している。



【地域貢献活動 部門】

中野地区老人クラブ連合会（平戸市）

代表 石田 康臣 氏

活動開始時期	活動年数	年間活動日数	活動者数 （うち65歳以上）
2002年 5月	21年 8か月	28日	180人（180人）

【活動概要】

当団体は、20年以上前から世代間交流として地域の保育園児・小学生と稲作体験や芋づくり体験を行い、子どもたちが普段体験できない貴重な経験をできる機会を提供している。

中学生とは、しめ縄づくりや門松づくりを一緒に行い、伝統文化の継承にも貢献している。

また、中学生と老人会とのグラウンドゴルフ大会も開催しており、スポーツを通じた交流で、地域との触れ合いをより深め、お互いの大切さと、地域の教育力の向上、健康増進に役立っている。

